

ご存じですか？

ユネスコの活動

ユネスコ(UNESCO)・国際連合教育科学文化機関は、教育・科学・文化などの活動を通して世界の平和を実現するという理念の下、世界平和への貢献・人類の福祉の向上などを目指して活動しています。成田ユネスコ協会は、ユネスコの精神を民間運動として実践するために、昭和50年に設立されました。

成田ユネスコ協会は、「世界寺

子屋運動」「世界遺産・地域遺産活動」「国際理解・交流活動」「持続可能な社会を目指す活動」を4つの柱として、さまざまな活動を通じてユネスコの理念の実現に努めています。

世界寺子屋運動

文字の読み書きができないアジアの国々の人たちに「学びの場」寺子屋」を提供し教育を支援する、世界寺子屋運動に力を注いでいます。

その一環として、毎年12月3月に小中学校・公民館などに「書き損じはがき回収箱」を設置し、集まったはがきを現金化し、これまでに、ベトナム・カンボジア・ネパール・ラオスに寺子屋をつくる資金に充てることができました。今年も回収箱の設置を予定していますので、皆様のご協力をお願いします。

世界遺産・地域遺産活動

今年7月、地域の文化・歴史・環境などを守る大切さを伝えようと、市内の文化財や町並みなどの写真を募集し展不する「成田の地域遺産写真展」を開催しました。

また、平泉・小笠原諸島を紹介するパネルを展示した「日本の世界遺産展」を同時開催するなど、世界遺産・地域遺産の保護・普及活動に取り組んでいます。

国際理解・交流活動

「日本の香りをあなたに」と題して、成田空港・成田観光館で外国人観光客などを対象に、着付け・茶道・和紙人形作りなどを体験してもらう催しを、定期的に開催しています。

今年6月には、協会婦人部を中心とした会員がブルガリアを訪問し、日本の伝統文化の紹介を通じて現地の人たちと交流を深めるな



ブルガリアの人たちと交流を深める橋本婦人部長

ど、国際理解・交流活動に尽力しています。

また協会婦人部では、東日本大震災の被災地に支援物資を直接届けたり、被災地から転入してきた人たちを支援するなどの活動を現在も継続しています。

持続可能な社会を目指す活動

教育を通じて、現在の環境を将来にわたり保ち続けることが可能

な社会づくりを目指して活動しています。

最近では、未来を担う子どもたちが地球環境など国際的な視点で養うことができる「ユネスコスクール」への加盟を、市内の学校などに呼び掛けています。

また協会では、一緒に活動に参加してもらえらる会員を募集しています。興味のある人は、成田ユネスコ協会事務局に問い合わせてください。

※くわしくは事務局(生涯学習課・☎20・1583)へ。

インタビュー

～ユネスコの理念の普及を目指して～



成田ユネスコ協会会長
きつない ただしげ
橋内 忠成さん

成田ユネスコ協会は、ユネスコの理念を実現するために、さまざまな活動に取り組んでいます。

中でも近年は、学校との連携を重視しており、学習指導要領に盛り込まれている「持続発展教育」を推進するための「ユネスコスクール」への加盟を、市内の学校などに勧めています。

今年1月に市内で初めて加盟校として認定された玉造中学校からは、世界中のユネスコスクールとの交流や情報共有などを活用し、国際社会に貢献できる人材育成につなげたいとの声を頂いています。

協会では、ユネスコの理念の社会への浸透が、依然として十分とはいえないことから、子どもたちがユネスコスクールを通して、地球環境問題などの理解を深め、平和への思いを強めていくことを期待しています。

これからも、多くの人にユネスコの活動を知ってもらい、活動に参加・協力してもらえらる人を増やしていきたいですね。